

4月の都区部CPI

～ 震災による物価上昇圧力は限定的 ～

- (1) 震災による工場の操業停止や、消費者の買いだめの動きなどにより、一部の消費財で供給不足が顕在化。4月中旬に調査された都区部小売物価統計をみると、ティッシュペーパーや紙おむつなどの価格が大きく上昇。
- (2) もっとも、総じてみれば価格上昇の動きは限定的。加工食品（除く総菜・飲料）では若干値上がりの兆しがみられるものの、家事用品（台所用品、洗剤など）、諸雑費（理美容品、身の回り品など）では価格変動率に大きな変化はみられず。
- (3) 変動の大きい食料・エネルギー、および制度要因が影響している授業料・タバコを除いた消費者物価指数をみても、4月には前年同月比▲0.3%とマイナス傾向が持続。当面を展望しても、消費マインドが大きく悪化していること、消費財の不足感は徐々に薄れつつあること、などを背景に、基本的にはデフレ基調が続く公算大。

